

# 言いたい ほがたい

た。枯葉剤に含まれて  
いたタイオキシンによ  
る被害は遺伝子を介す  
るために、第三世代、  
第四世代にまで被害が  
及んでいきます。

施設長のホン・ティ  
ン・ヴァン・ティンさ  
んは重い障害のため、  
・ツイイさんは、二十  
年間、軍医として活  
動し、この施設を全て  
寄付で立ち上げまし

た。施設では医薬品、  
運営費の寄贈、仲間の  
音楽療法士による訓  
練、眼科検診、そして  
子ども達との交流を行  
いました。

一歳から四十六歳ま  
での障害を持った、主  
に子ども達が施設に住  
み込み、様々な教育、  
訓練を受けていまし

たお金の中から生活支  
援金を寄贈しました。

前日も訪問した、一  
九七五年生まれのグエ  
ン・ヴァン・ティンさ  
んは重い障害のため、  
生まれから寝たきり  
の生活。七九年に父親  
が亡くなってからは、  
三十七年余り、母一人

た。彼女の長男も枯葉  
剤による障害を持ち、  
治療が欠かせません。  
被害者協会が選んで  
くれた家庭を十軒訪問  
し、通訳を通じて家庭  
の状況、枯葉剤による  
被害の経緯などを確認

し、医薬品や経済状況  
に応じて仲間から集め  
た。三時間ごとの体位

交換もあり、母親には  
二十四時間休む暇があ  
りません。自分が死ん  
でしまえば、息子の方  
倒を見てくれる施設も  
親戚もいない、と涙な  
がらに語っていまし  
た。

施設長のツイイさん  
のお宅も訪問し、ご家

の手で面倒を見てこら  
れました。前回訪問し  
た時には褥瘡（じよく  
そう）がびびへ、今回  
は予防のためのマット  
を届けようと準備しま  
した。

一年の間に、母も子  
も一回り小さくなって  
いるように感じまし  
品によって命を承らえ

## 母の願い

名古 良輔

多くの被害者家庭で  
は、障害を持って生ま  
れた子ども達の世話を  
母親がしています。枯  
葉剤被害への周囲の無  
知から、その障害の責  
任を押し付けられ、辛  
い思いをしたと、涙な  
がらに語る母親も少な  
くありません。

戦争の犠牲者を実際  
に目の前にして思うこ  
とは、ただひとつ。こ  
んな辛い思いを、我が  
子や孫たちにさせては  
ならない、というその  
一点です。それは被害  
者の母親の思いである  
と同時に、世界中の母  
の願いでもあるはずで  
す。

(眼科医、原)